

九建日報

発行所

株式会社 九建日報社

〒812-0018 福岡市博多区住吉5-9-19

電話 代表092(431)5361 番

FAX 092(431)7613 番

購読料1ヵ月7,020円

北九州支局 TEL093(921)5011

長崎支局 TEL095(827)5595

熊本支局 TEL096(273)8708

大分支局 TEL097(594)0518

宮崎支局 TEL0985(24)6688

鹿児島支局 TEL099(259)3426

<http://www.kyuukennippou.co.jp>

予防保全で対策費抑制

建造物の補修・補強フォーラム'19

健康寿命へ適切調査・診断学

コンクリートメンテナンス協会

（一社）コンクリートメンテナンス協会（徳納剛会長）は23日と24日の2日間にわたり、「コンクリート建造物の補修・補強に関するフォーラム2019」＝写真＝を福岡市博多区の福岡国際会議場で開催した。土木学会認定CPDプログラムで延べ約1900人が参加し、コンクリート建造物における健康寿命の考え方、最新の調査診断や維持管理技術を学んだ。



今年のテーマは「鉄筋防錆の観点からコンクリート建造物の健康寿命を考える」。あいさつに立った徳納会長は「国内のコンクリート建造物は確実に劣化が進み、直ちに対策が必要なものも少なくない。それらに対して適切な調査、診断、補修設計、補修工事を行うことは維持管理に関わる技術者の責務だと思つ」と述べた。

九州地整企画部の竹下卓宏技術調整管理官は「最近の建設行政の話題」と題し、防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策と令和元年度予算、社会資本整備を取り巻く現状と働き方改革、i-Construc-tionの取り組みについて講演した。

また他産業に比べ高齢化が進み若年層も少ない建設業の就業者、技能者の現状を説明し、課題である若年者の入職、確保等に向けた働き方改革の取り組みを紹介した。

「長寿命化のための点検要領」について話した同協会顧問で近未来コンクリート研究会の十河茂幸代表は、老朽化したコンクリート建造物が膨大な数となっている中で技術者、技術力、対策費が十分でないと指摘し「予防保全として損傷が顕在化する前に対応すること

で対策費が抑えられる」、「構造物が置かれている環境を考慮し、点検の調査項目を絞り込む」、「診断は専門家が行い、点検は技能者が行う」ことなどを提案した。

このほか、最新の調査・診断や補修技術の解説など多岐にわたる講演が行われた。

同フォーラムは、8月1日に那覇市、9月26日に熊本市でも開催される。